

福井大学学術交流協定校への派遣留学（交換留学）月例報告書（9月）

留学先：The University of Findlay

氏名：岸本有実子

【はじめに】

アメリカでの留学生活がスタートしてから、早くも1か月が経過しました。こちらの気候は基本的に穏やかですが、少し天気が崩れるとかなり冷え込み、厚めのパーカーやジャケットが手放せません。また夜も肌寒く、体調管理が大変です。しかし現地の人々はまだTシャツと半ズボン姿で過ごしており、驚いています。

さて、今回の報告書では、秋学期の授業とこれまでに参加したイベントについて報告します。

【秋学期の授業】

Monday	Tuesday	Wednesday	Thursday	Friday
10:00-10:50 Elementary Spanish	9:30-12:15 Introduction to Drawing	Elementary Spanish	Intro to Drawing	Elementary Spanish
				11:00-11:50 College and Professional Reading
	12:30-1:45 Writing Review for NNS I		Writing Review for NNS I	
	(2:00-2:50 W.R. for NNS/Lab)			
	4:00-5:00 Experiences in Japanese			

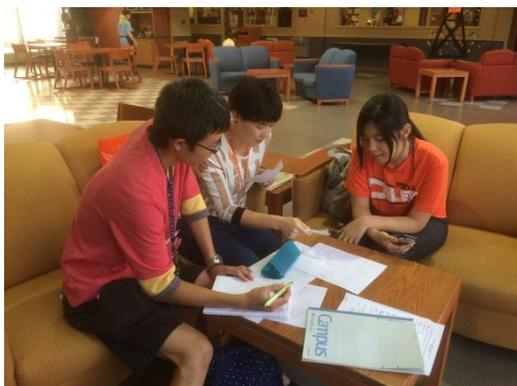
今学期の時間割はこのように決めました。スペイン語、ドローイング、ライティング、リーディング、文化交流の5つです。英語で他言語を学ぶという経験をしたかったので、隣国のメキシコや南アメリカでも話されているスペイン語を選びました。ラテンアメ

リカの文化を学びたかったというのも一つの理由です。ドローイングに関しては、芸術に以前から興味があったため選びました。私が一番気に入っている授業です。英語で様々な形容詞や芸術の歴史、技術を学ぶのはとても興味深いです。また、作品に関して感想を述べ合ったりディスカッションをしたりもするので、絵の技術だけでなくスピーキングの向上にも役立っています。ライティング、リーディングの授業にいる学生は留学生がほとんどで、友達も多くできました。ライティングの授業は少しレベルが高く、英語を学ぶというよりは文章構成や形式、つまりアカデミック・ライティングの基本的な情報の講義が多いです。そのため、英語力が追いついていかないこともあり少し大変ですが、先生に質問したり同じ授業を受けている学生同士で確認し合ったりしながら今のところなんとか乗り切っています。文化交流の授業も英語でのディスカッションが多く大変ですが、現地の学生と共に日本・アメリカ間の文化の違いを学ぶことができるため、とても楽しいです。ご覧のとおり空き時間が多いですが、これらの時間は課題、自主学習、スポーツ（息抜き）などに充てています。

【イベント】

たった 1 か月の間に、記憶に残るイベントがいくつもありました。その中のひとつが、加計プログラム（KAKE program）の学生たちとの交流です。加計は 3 週間の学術交流プログラムで、日本各地の大学から 10 名ほどの学生がフィンドレー大学へ短期留学をするというものです。加計の学生と、また彼らに関係する行事を通して他国からの留学生ともたくさん交流することができました。8 月 27 日には、彼らの留学の集大成であり、彼らが日本文化を紹介する「KAKE フェスティバル」が開催されました。そこでは、加計の学生が折り紙、書道、日本食（お好み焼きなど）、そろばんのブースを作り、私たち長期留学組もそれらを楽しみつつ補助をしました。また私たちもよさこいを披露させていただきました。フェスティバルの 2 週間ほど前から練習をして、本番では現地の学生や留学生も交えてみんなで踊ることができました。ちなみに、現地の学生・留学生には、折り紙や書道が大人気で、よさこいもかなりうけて、アンコールが起こるほどでした。このような文化交流のイベントを通して日本をアピールすることはとても良いことだと思います。私を含め、参加者全員が何かを学び、かつ楽しい時間を過ごしていました。その他にも、フィンドレー大学のイベント（スポーツ大会など）、カヌー体験、教会のイベント、隣町でのアートフェスティバルなどにも足を運び、様々な体験をすることができました。次ページにいくつか写真を載せます。

【写真】



←文化交流の授業の課題をグループで行なっている様子です。この授業の課題は、基本的にペアもしくはグループで行ないます。この回は日本人と台湾からの留学生と同じグループになりました。



←↑加計フェスティバルでの様子です。現地の学生たちの間では、書道が大人気でした。よさこいは、手作りの法被と鉢巻をつけて踊りました。中には法被が欲しい、という留学生もいて、日本の文化が人気だということを実感しました。

こちらでの生活では楽しいこともたくさんあります。しかし、当たり前のことですが困難に感じることも、戸惑うこと、小さな日常のトラブルなども起こっています。授業も次第に発展的になり、課題も多くなってきました。それに加えて文化・考え方の違いなども感じるようになり、少し肩身の狭い思いをすることもあります。これらに関しては、来月報告したいと思います。それではまた、来月の報告書で。